

世界の主な地震

平成 21 年（2009 年）11 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

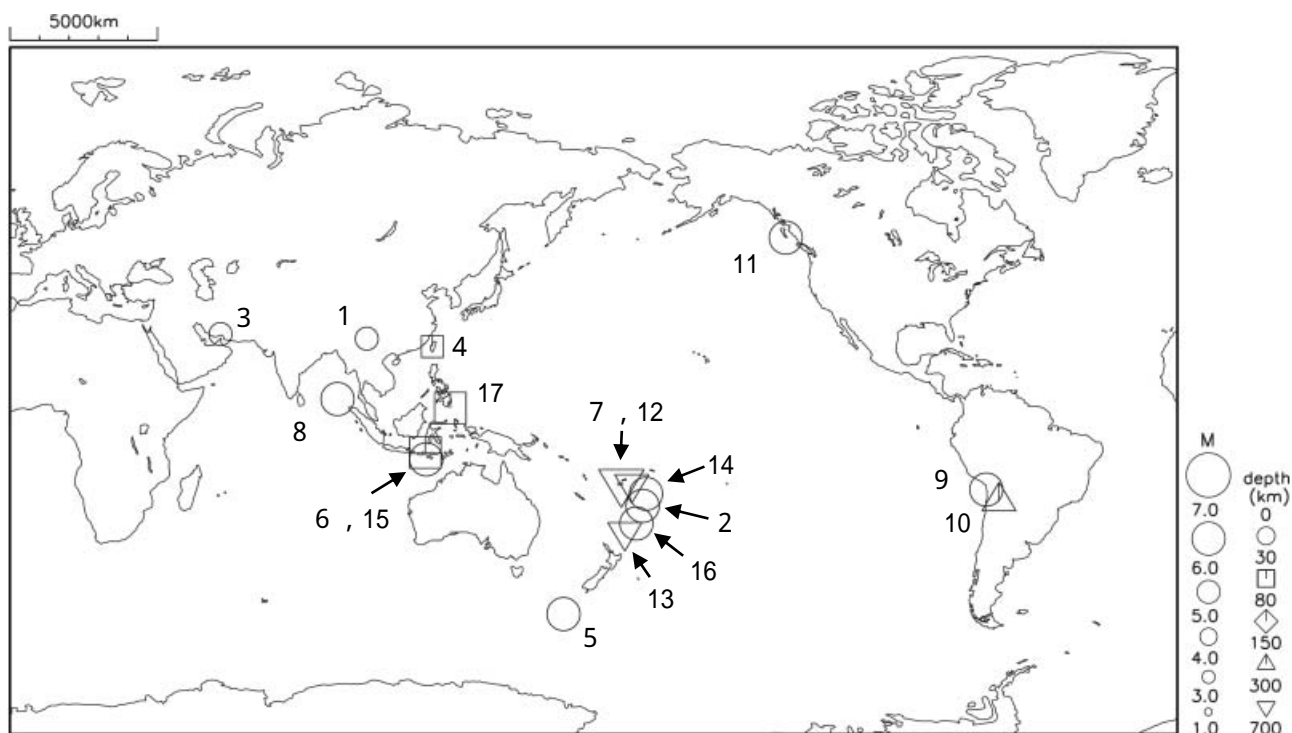


図 1 平成 21 年（2009 年）11 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

*：震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。

**：数字は、表 1 の番号に対応する。

***：マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 21 年（2009 年）11 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)
1	11月02日06時07分	N25° 57.7	E100° 49.5	24	5.0			中国、ユンナン（雲南）省	負傷者28人、住家被害30,000棟以上
2	11月02日19時47分	S24° 7.8	W175° 9.8	9	6.1	6.1	6.2	トンガ諸島南方	
3	11月04日08時26分	N27° 20.0	E 56° 12.1	14	5.1			イラン南部	負傷者269人、住家被害数棟
4	11月05日18時32分	N23° 51.9	E120° 36.3	95	5.6	(5.8)	5.6	台湾付近	負傷者1人など
5	11月05日18時43分	S52° 19.0	E160° 45.3	10			6.0	マクオーリー島	
6	11月09日04時41分	S 8° 16.2	E118° 37.9	33			6.6	インドネシア、スンバワ	TWI発表
7	11月09日19時44分	S17° 12.6	E178° 24.6	585			(7.3)	フィジー諸島	
8	11月10日11時48分	N 8° 4.9	E 91° 53.4	24	6.1	5.7	6.0	インド、ニコバル諸島	
9	11月13日12時05分	S19° 24.1	W 70° 18.1	27	6.2	6.4	6.5	チリ北部沿岸	停電
10	11月15日04時44分	S22° 57.9	W 66° 38.4	220	5.8		6.2	アルゼンチン、フバイ州	
11	11月18日00時30分	N52° 7.3	W131° 24.0	7	6.0	6.5	6.6	カナダ、クイーンシャーロット諸島	
12	11月22日16時48分	S17° 47.7	W178° 25.4	522	5.7		6.4	フィジー諸島	
13	11月23日07時47分	S31° 34.0	E179° 27.9	436	5.7		6.2	ケルマデック諸島	
14	11月24日21時47分	S20° 38.7	W174° 4.3	18			6.8	トンガ諸島	
15	11月28日15時04分	S10° 24.7	E118° 53.9	22	5.9	5.8	6.0	インドネシア、スンバワ南方	
16	11月28日18時21分	S29° 12.9	W176° 59.8	10	5.8	5.8	6.0	ケルマデック諸島	
17	11月29日03時10分	N 5° 19.0	E126° 16.9	42	5.6		6.0	フィリピン諸島、ミンダナオ	

・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による（平成 21 年 12 月 7 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）は気象庁に、被害状況は総務省消防庁に、Mw の欄に括弧つきで記されている地震のモーメントマグニチュードは気象庁による。

・震源時は日本時間 [日本時間 = 協定世界時 + 9 時間] である。

・TWI は気象庁がインド洋沿岸諸国に暫定提供しているインド洋津波監視情報である（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）。

